

**令和4年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

令和4年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	69.0%					○
数学	51.4%		○			
理科	49.3%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	72.2%					○
情報の扱い方に関する事項	46.5%					○
我が国の言語文化に関する事項	70.2%	○				
話すこと・聞くこと	63.9%		○			
書くこと	46.5%					○
読むこと	67.9%					○

【考 察】

- 1年生のときから作文を定期試験に取り入れて、書くことを億劫がらないようにしてきました。テーマを決めて自分の考えを書かせたり、事実に対して自分の見方を書かせたりと数パターンの形式で出題し、即応できる力を付けさせてきた成果が表れました。
- 漢字の読み書きに力点を置き、毎時間漢字の小テストを実施してきた結果、文中で漢字を正しく書くことは身に付いています。しかし、楷書と行書の比較や行書の特徴などについては全国と比べると正答率が低い結果となりました。楷書と行書の比較検討を行い、確実に違いが理解できるよう授業内容を工夫していきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	57.4%					○
図 形	43.6%	○				
関 数	43.6%	○				
データの活用	57.1%			○		

【考 察】

- 「数と式」の領域は、全国平均を上回っています。授業や家庭学習で繰り返し計算練習を行い、計算コンテスト等で定着を図ったことが計算力の向上につながりました。また、目的に応じて式を変形したり、事柄が成り立つ理由を文字式で説明したりする力がついてきました。
- 「図形」「関数」の領域では、用語の意味やその使い方に関する問題の正答率が全国と比べて低い結果でした。今後は、用語の意味を正しく理解しながら定着させた上で、適切に活用する場面を多く設定していきます。また、問題文を丁寧に読む習慣を身に付けさせ、説明や証明を筋道を立てて書くことができるよう、条件を変えた問題に取り組みせたり、生徒同士の学び合い学習を取り入れたりして力を高めていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	41.9%					○
粒 子	50.9%					○
生 命	57.9%					○
地 球	44.3%					○

【考 察】

- どの分野も全国平均を上回っています。その中でも図やグラフを読み取り、記述式で答える問題の正答率が全国平均を15～20%程度上回っていることから、実験の結果を正しく解釈し、考察する力がついていると考えられます。
- 「地球」を柱とする領域の天気に関する問題の正答率が極端に低い結果となりました。身近な事象でありながら苦手意識をもつ生徒が多いため、月ごとの天気図や週間天気予報、季節ごとの空の様子の写真等を収集し、日常生活と関連させながら内容を理解させられるよう指導していきます。